

一般国道180号 岡山環状南道路

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道180号 岡山環状南道路			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県岡山市南区藤田 至：岡山県岡山市南区古新田					延長	2.9km
事業概要 一般国道180号は、岡山県岡山市北区から島根県松江までを結ぶ延長約174kmの主要幹線道路である。 岡山環状南道路は、岡山県南部の中央に位置し、岡山県岡山市南区藤田と岡山市南区古新田を結ぶ延長2.9kmのバイパスである。 事業目的は、岡山市都市部で発生している交通渋滞の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を図り、都市機能の充実、地域経済の発展や拡大を促進することである。							
H21年度事業化		H20年度都市計画決定		H23年度用地着手		H24年度工事着手	
全体事業費		223億円		事業進捗率 (H28年度末見込み)		30% 供用済延長 0.0km	
計画交通量		25,900 ~ 99,700 台/日					
費用対効果 分析結果		B/C (3便益) (事業全体) 3.9 (残事業) 4.5		総費用 (残事業)/(事業全体) 165 / 188 億円 事業費：153/176 億円 維持管理費：12/12 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 739 / 739 億円 走行時間短縮便益：640/640 億円 走行費用減少便益：82/ 82 億円 交通事故減少便益：17/ 17 億円	
感度分析の結果		基準年 平成25年					
(事業全体) 交通量：B/C=3.6~4.2(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.2~4.8(交通量±10%) 事業費：B/C=3.6~4.3(事業費±10%) 事業費：B/C=4.1~5.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.6~4.3(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.1~4.9(事業期間±20%)							
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待できる ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される ・国道30号を利用するバスの定時性向上が期待される ・玉野市から岡山ICへのアクセス向上が期待される ②物流効率化の支援 ・岡山港（重要港湾）周辺に立地する物流企業から岡山県全域、広島県福山市・広島市、鳥取県、島根県へのアクセス向上が期待される ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「岡山環状道路」の一部としての位置づけ ④個性ある地域の形成 ・玉野・渋川（海水浴場等）（H27観光入込客数：約213万人/年）等へのアクセス向上が期待される ⑤安全な生活環境の確保 ・死傷事故件数の削減が期待される ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される ⑦生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が期待される ・SPM排出量の削減が期待される ⑧その他プロジェクトとの関係 ・「岡山県南広域都市計画区域マスタープラン（H24.1）」および「岡山市都市計画マスタープラン（H24.3）」において、優先的に概ね10年以内に整備実施することを予定している路線としての位置付けされている							

関係する地方公共団体等の意見

「早期整備を望む。」という要望が、一般国道180号岡山県整備促進期成会（岡山市長・岡山市議会議員・総社市長・総社市議会議員・高梁市長・高梁市議会議員・新見市長・新見市議会議員）から出されている。

岡山市長の意見：対応方針（原案）について異議ありません。

一般国道180号岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・岡山西バイパス側道部の全線開通および国道180号総社・一宮バイパスの部分開通による交通集中や周辺開発の増進、人口増加に伴い、渋滞や交通事故が発生している。
・国道180号総社・一宮バイパスは部分開通し、市道藤田浦安線が事業中であり、岡山環状道路として一体的整備が進められている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成28年末で事業全体の進捗率は30%となる見込みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、用地買収、工事推進を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

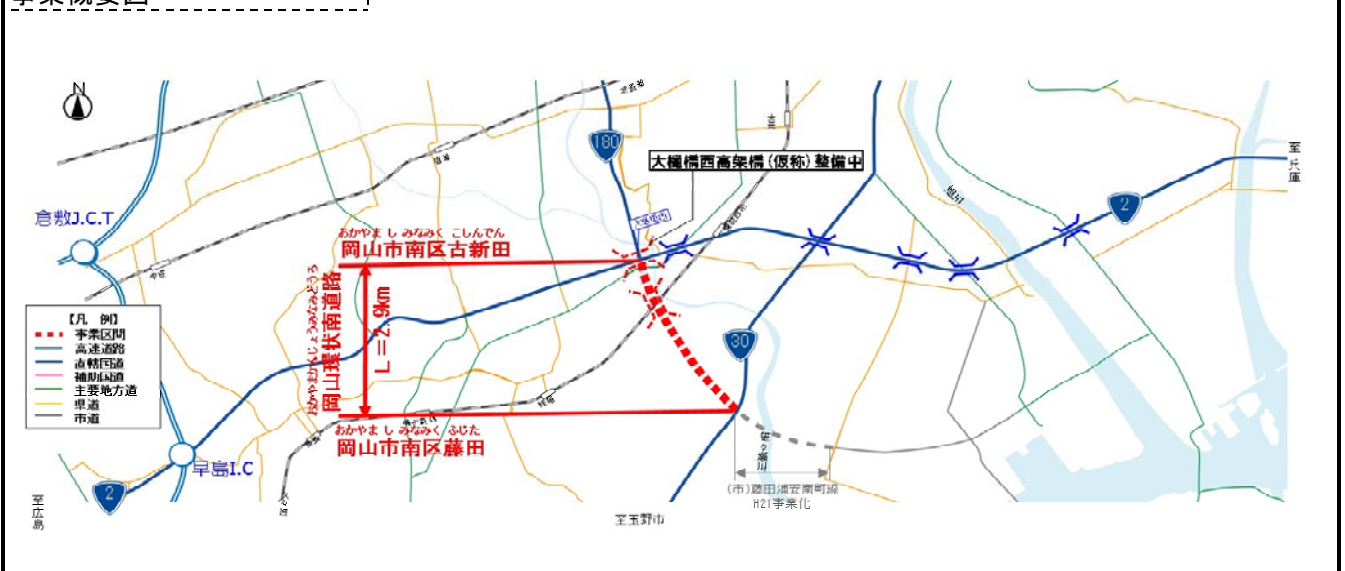
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析、環境改善効果等に係る項目は、平成25年度再評価時点。

一般国道180号 おかやまかんじょうみなみ 岡山環状南道路

事業再評価 要点審議

平成28年10月

国土交通省 中国地方整備局

【参考】前回のとりまとめ結果

一般国道180号 岡山環状南道路

おかやまかんじょうのみなみ

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	188	165
事業費	176	153
維持管理費	12	12
便益額 (B)	739	739
走行時間短縮便益	640	640
走行経費減少便益	82	82
交通事故減少便益	17	17
費用便益比	3.9	4.5

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割 (+α)

- ①環境への影響を考慮した効果 [約10千トン/年のCO2削減]【+約6億円】※1、※2
岡山環状南道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算出
- ②重症患者の救急搬送時間短縮 [例]岡山西消防署～岡山市南区～岡山中央病院までの所要時間短縮約7分]
- ③玉野地域の活性化 [例]玉野市役所～岡山空港までの所要時間短縮約10分]
- ④沿道環境の改善 [Nox排出量:約31.5t/年(0.6%)削減、SPM排出量:約1.8t/年(0.6%)削減]※2

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該の供用に影響を受けるエリアを対象に算定

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) () 内は残事業B/C
25, 900～99, 700台/日	223億円	188億円	739億円	+α	3.9 (4.5) +α

※1 基準年：H25年

※2 H17ベース第2段階の改善を使用

【参考】費用対効果分析実施判定票

おかやまかんじょうみなみ 岡山環状南道路

一般国道180号

費用対効果分析実施判定票

年度： 平成28年度

事業名： 一般国道180号 岡山環状南道路

担当課：

担当課長名：

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項 目		判 定	
		判断根拠	チェック欄
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合			
事業目的	事業目的に変更がない	事業目的である「交通渋滞の緩和」「交通安全の確保」「沿道環境の改善」「都市機能の充実」「地域経済の発展や拡大」などに変更がない。	■
	外的要因		
判断根拠	事業を巡る社会経済情勢の変化がない	対象路線沿線市町村の人口 H25.3:701,923人 → H28.1:707,615人(岡山市) 対象路線沿線市町村の自動車保有台数 H25.3:489,457台 → H27.3:500,986台(岡山市)	■
	内的要因<費用便益分析関係> ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2.~4)について、各項目が感度分析幅の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。		
判断根拠	1. 費用便益分析マニユアルの変更がない 判断根拠[B/Cの算定方法に変更がない]	費用便益分析マニユアル(H20.11.28)に変更がない。	■
	2. 需要量等の変更がない 判断根拠[需要量等の減少が10%※以内]	前回発生集中交通量 3,667,414TE/日 → 今回発生集中交通量 3,667,414TE/日 変化率 0.0%	■
	3. 事業費の変化 判断根拠[事業費の増加が10%※以内]	前回事業費 22,300百万円 → 今回事業費 22,300百万円 変化率 0.0%	■
	4. 事業展開の変化 判断根拠[事業期間の延長が10%※以内]	前回事業展開 H21年度~H33年度 13年 → 今回事業展開 H21年度~H33年度 13年 変化率 0.0%	■
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合			
事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。		直近3箇年の事業費の平均に対する分析費用 0.4%≦基準値1.0% 前回評価時の感度分析下位ケース 3.6≧基準値1.0	■
前回評価で費用対効果分析を実施している			■
以上より、費用対効果分析を実施しないものとする。			

3. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇社会情勢等に変化がない。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)= 3.9 (事業全体) 4.5(残事業)

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果 [約10千トン/年のCO2削減]【+約6億円】※1、※2

岡山環状南道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算出

②重症患者の救急搬送時間短縮 [例)岡山西消防署～岡山市南区～岡山中央病院までの所要時間短縮約7分]

③玉野地域の活性化 [例)玉野市役所～岡山空港までの所要時間短縮約12分]

④沿道環境の改善[Nox排出量:約31.5t/年(0.6%)削減、SPM排出量:約1.8t/年(0.6%)削減]※2

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値) ※2 当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算定

3) 事業の進捗状況

◇平成28年度末で事業全体の進捗率は30%になる見込みである。

②事業の進捗見込み

◇現在、用地買収及び工事を推進しており早期完成を目指し、事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 市への意見照会結果

◇岡山市長の意見: 対応方針(原案)について異議ありません。

一般国道180号岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。



【今後の対応方針(原案)】

◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。

◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

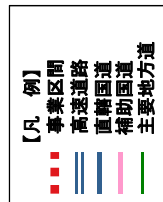
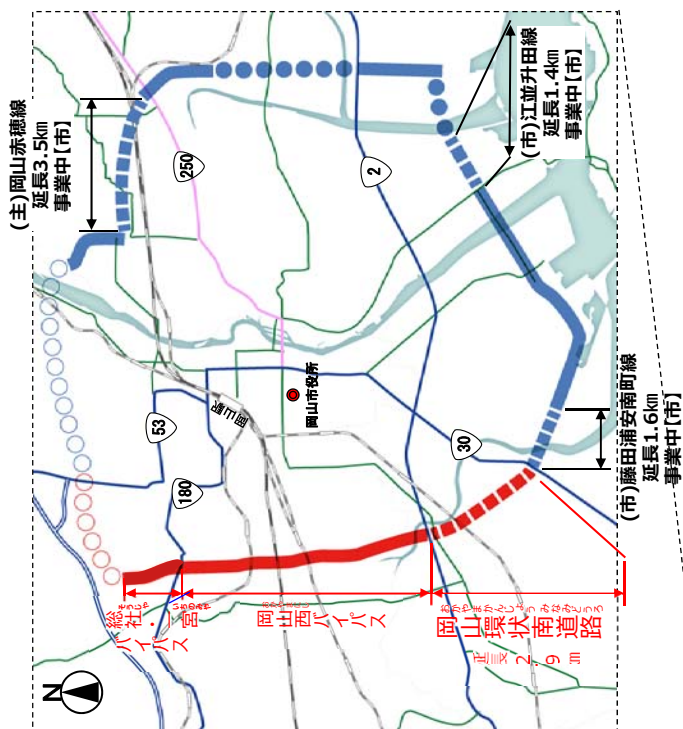
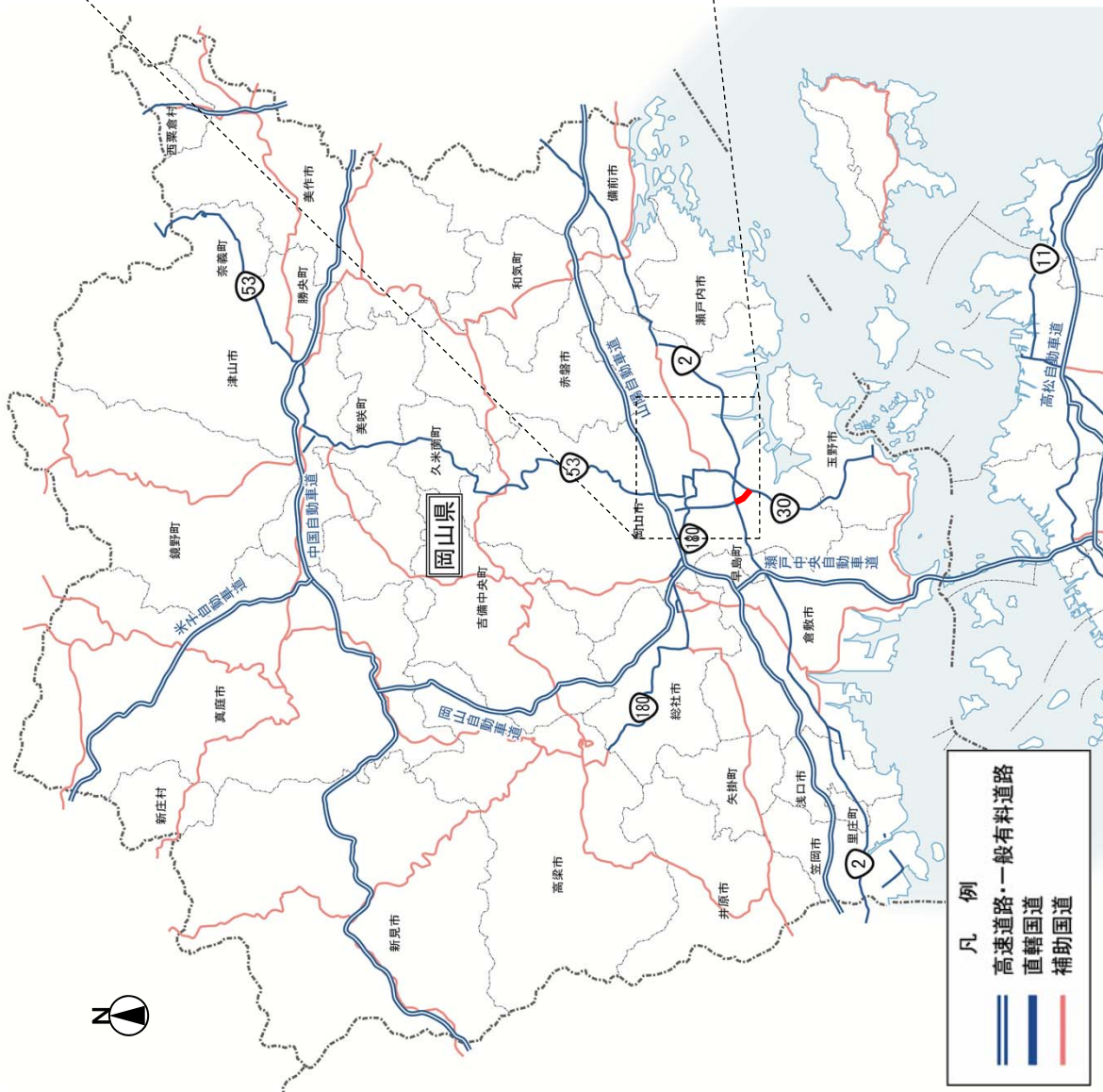
1. 事業概要

(1) 位置図

・一般国道180号は、岡山県岡山市北区から島根県松江市までを結ぶ延長約174kmの主要幹線道路である。

・岡山環状南道路は、岡山県南部の中央に位置し、岡山県岡山市南区藤田と岡山市南区古新田を結ぶ延長2.9kmのバイパスである。

一般国道180号 岡山環状南道路



岡山環状南道路		岡山県管理
開通済み区間	■	■
※暫定開通含む		
未開通区間	■	■
事業中	■	■
既設計	○	○
未設計	○	○

1. 事業概要

(2) 事業目的と計画概要・経緯

【目的】岡山市都市部で発生している交通渋滞の緩和、交通安全の確保、物流ネットワークの形成。

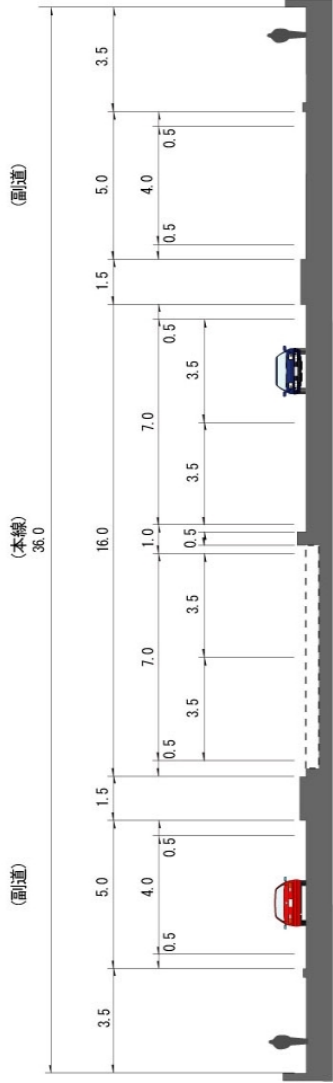
計画概要

事業名	岡山環状南道路 お か や ま か ん じ ょ う み な み
起 終 点	起点：岡山県岡山市南区藤田 お か や ま 藤 田 終点：岡山県岡山市南区古新田 お か や ま 古 新 田
計画延長	2.9km
道路規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車 線 数	暫定2車線
都市計画決定	平成21年3月
事業着手	平成21年度
用地着手	平成23年度
工事着手	平成24年度
全体事業費	約223億円

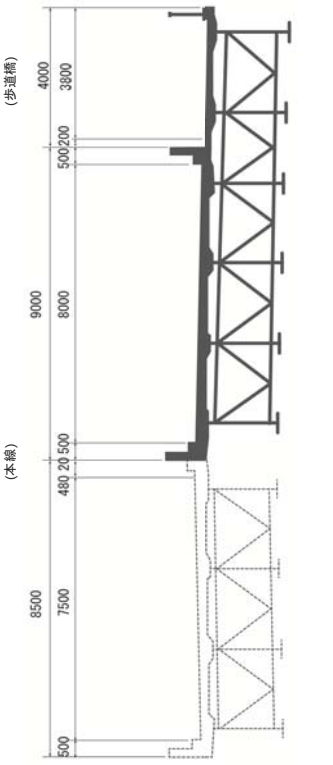


標準断面図

《一般部》



《本線JR部高架橋》

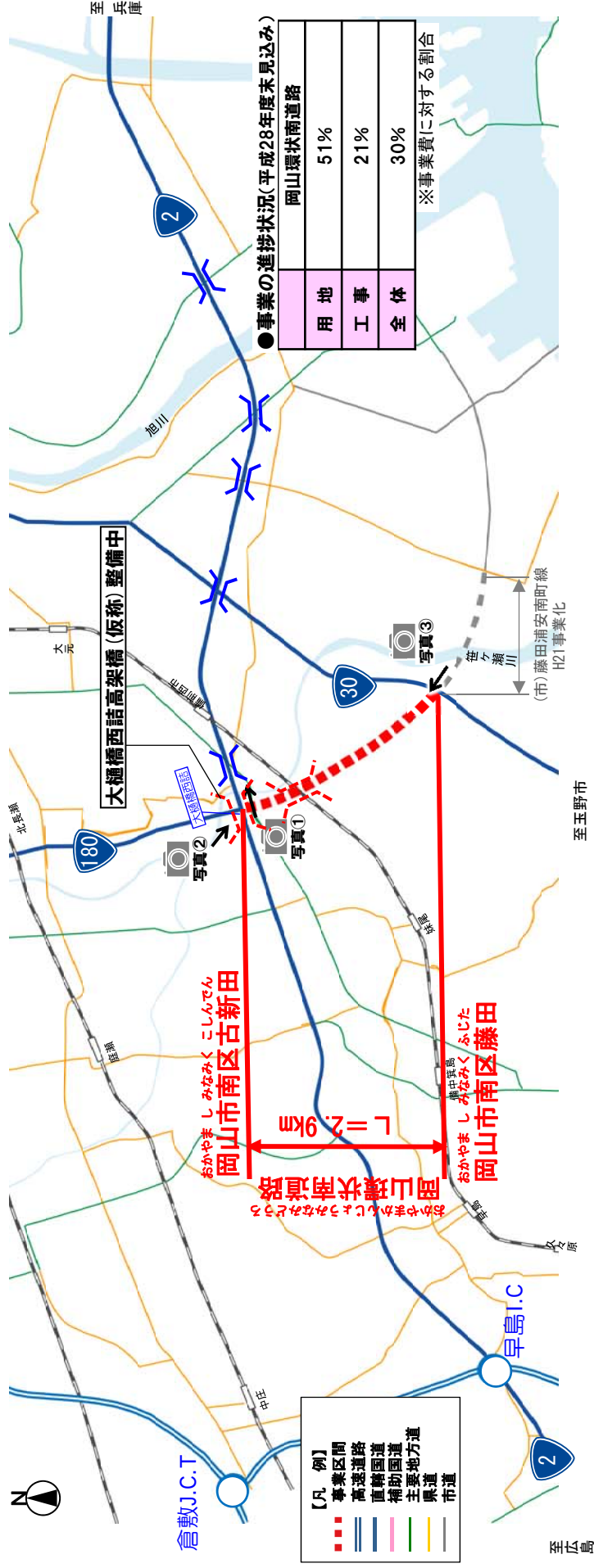


1. 事業概要

おかやまかんじょうみなみ
一般国道180号 岡山環状南道路

(3) 事業の進捗状況

- 岡山環状南道路は、平成23年度に用地買収に着手し、現在は用地買収及び工事を推進しているところである。
- 大樋橋西詰交差点の立体化については、平成24年度から工事着手している。



【写真①】国道2号大樋橋西詰高架橋(仮称)整備状況



撮影日：H28.8.17

【写真②】国道2号接続部



撮影日：H25.10.21

【写真③】起点付近の状況



撮影日：H28.9.2

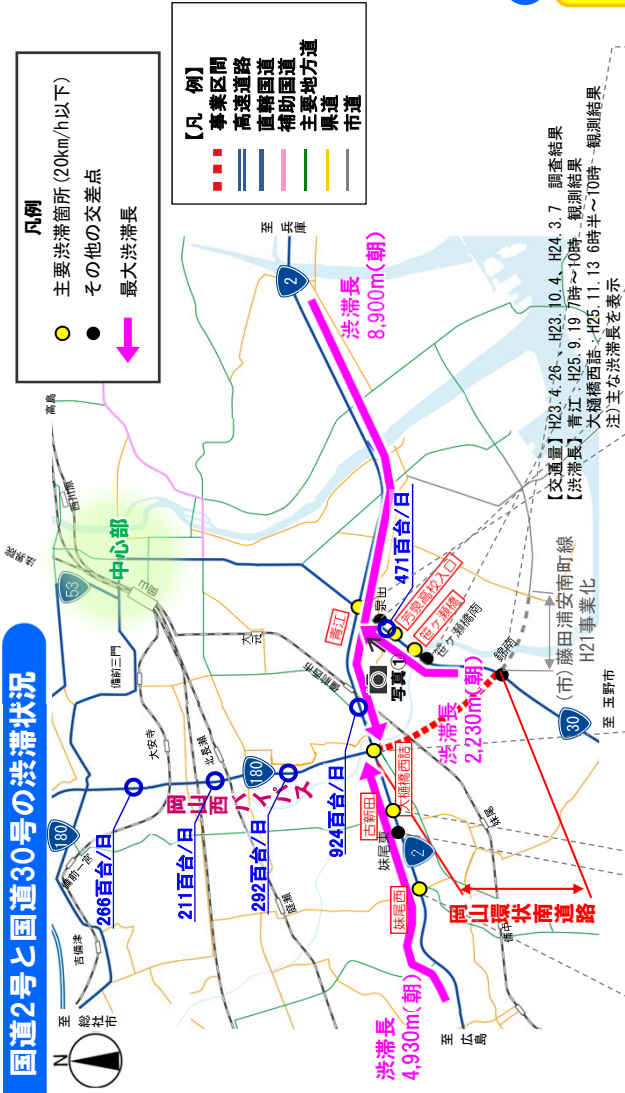
2. 事業の必要性 (1) 現状の課題

おかやまかんじょうみなみ
一般国道180号 岡山環状南道路

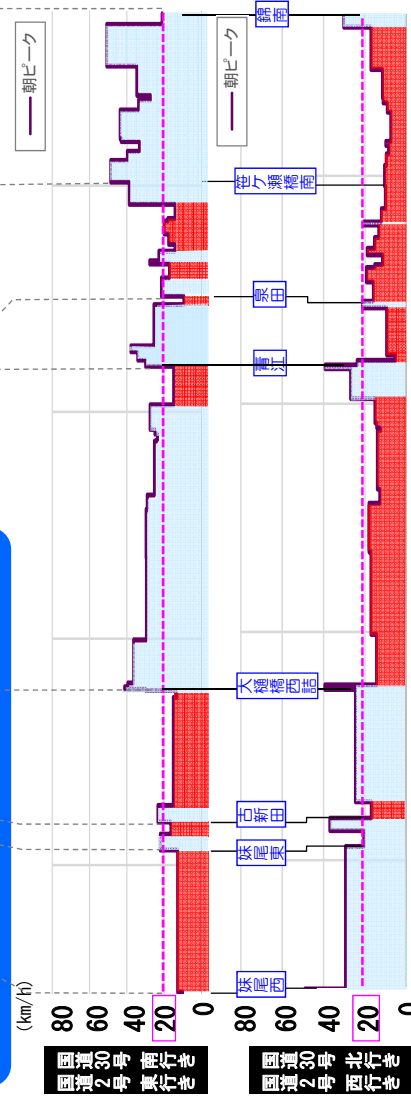
① 渋滞・交通分散

- ・岡山市中心部と玉野市を結ぶ国道30号は主要渋滞箇所が連担し、混雑時の速度低下が著しい。
- ・岡山環状南道路の整備により国道30号から岡山市中心部及び広島方面へ向かう交通が分散され、渋滞の緩和、速度の向上が期待される。
- ・大樋橋西詰交差点の立体交差点化により、国道2号に発生している渋滞の緩和・解消が期待される。

国道2号と国道30号の渋滞状況



国道2号妹尾西～国道30号錦南の旅行速度



プローブデータ H27.4～H28.3 平日平均 朝ピーク

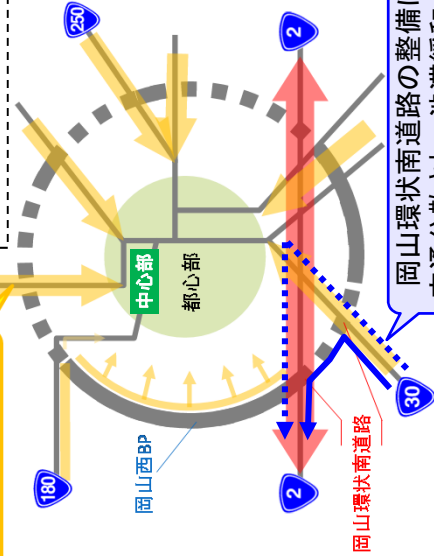
【写真①】 国道30号青江交差点付近の渋滞状況



現在の岡山都市圏の道路網

特定路線に交通が集中することが課題

- 国道2号の通過交通が多く、中心部への交通流入が特定路線に集中することにより、慢性的な渋滞が発生

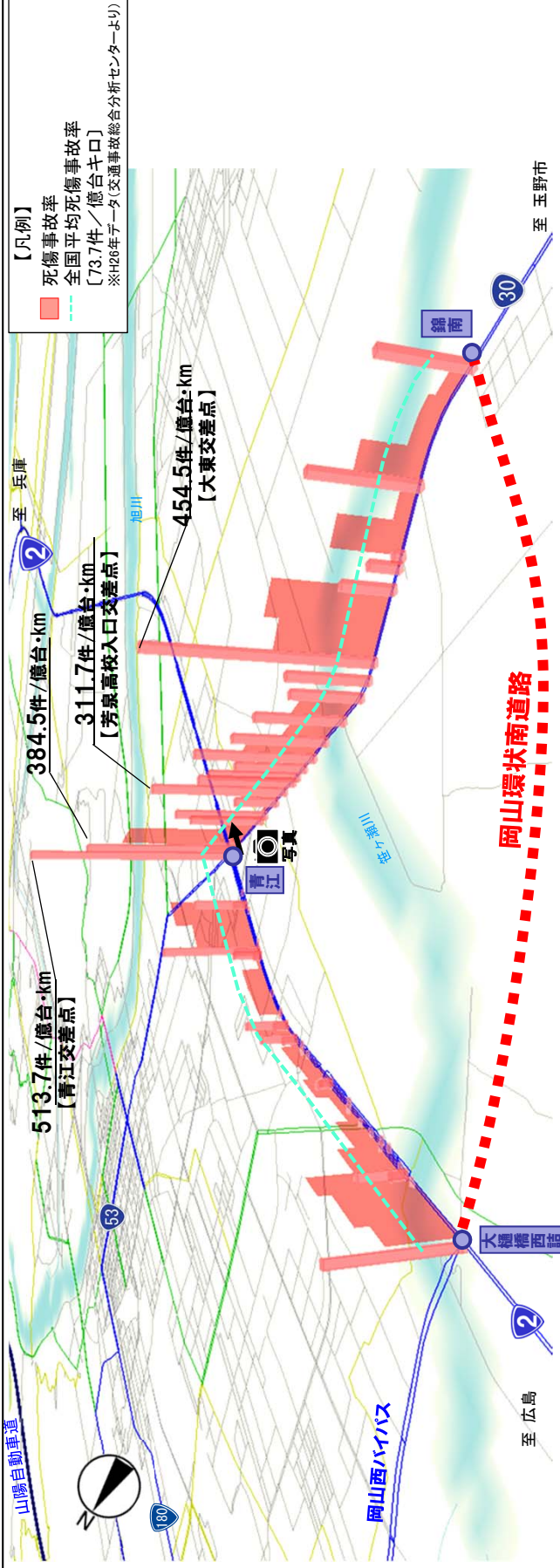


2. 事業の必要性

(1) 現状の課題

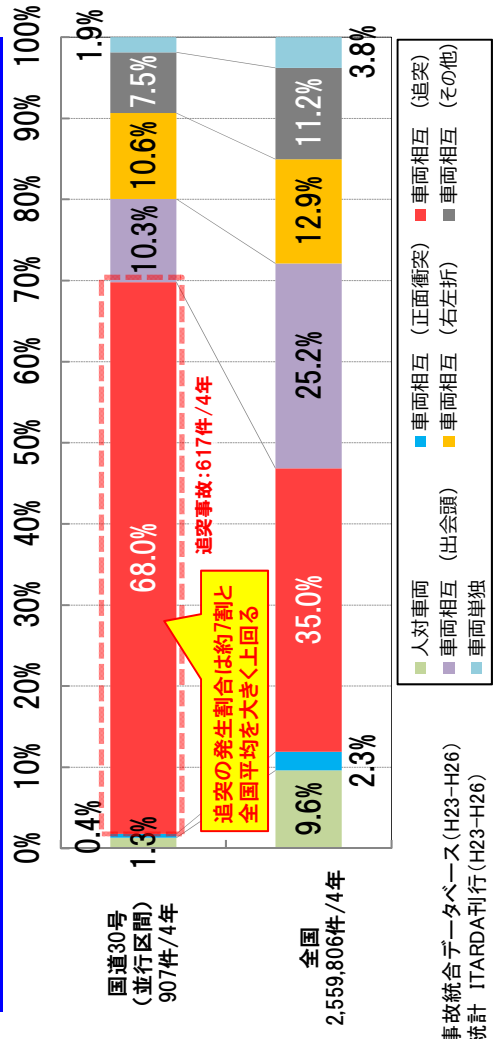
② 交通事故

・岡山環状南道路付近の並行区間の死傷事故率は、全国平均よりも高い箇所があり、追突事故が約7割と高い。



出典：交通事故総合データベース (H23-H26)

国道2号大榎橋西詰交差点～国道30号錦南交差点間の死傷事故の特性



出典：交通事故総合データベース (H23-H26)
 交通統計 ITARDA刊行 (H23-H26)

【写真】青江交差点付近で発生した交通事故

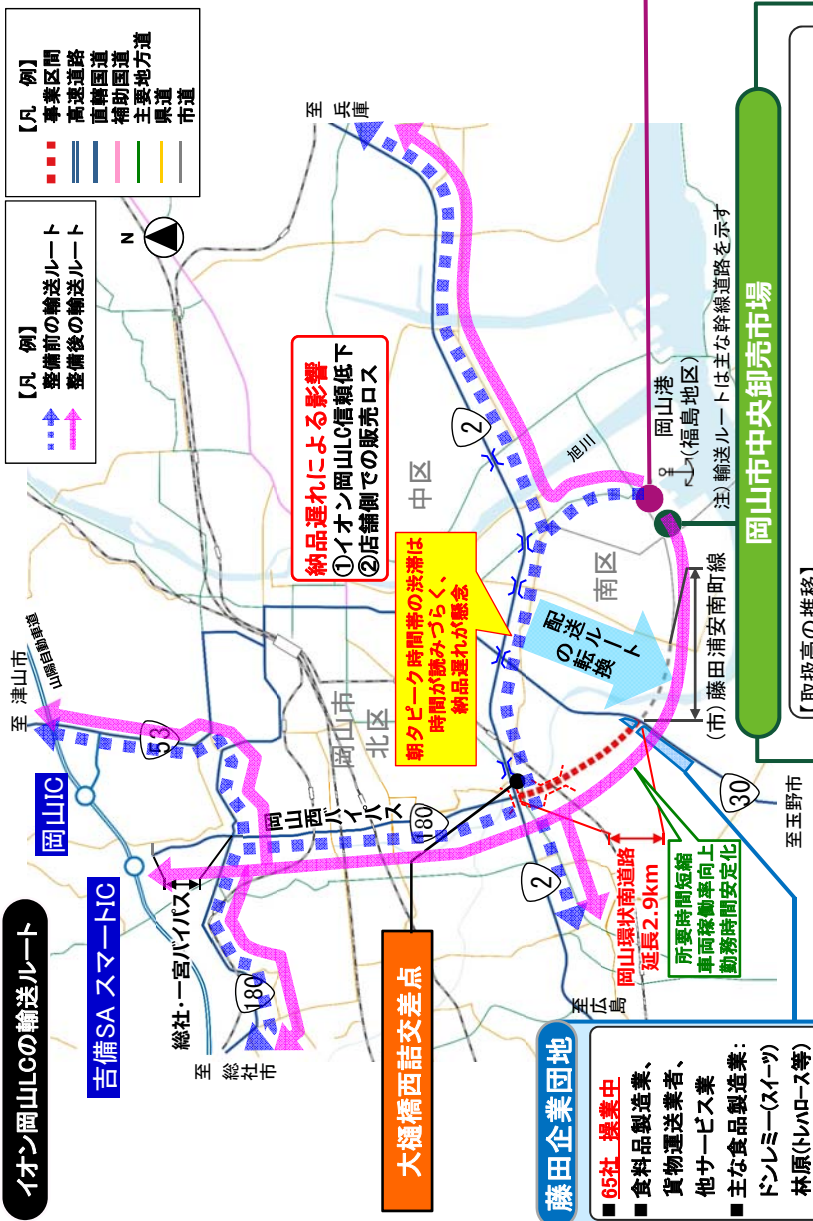


2. 事業の必要性

(2) 道路整備により期待される効果

- ・岡山市の国道2号以南に中央卸売市場や製造・物流企業等が立地。
- ・H28年9月に新たな物流拠点が稼動しており、岡山環状南道路と市道藤田浦安南町線が連続的に整備されることで、岡山市南部地域を横断的に結ぶネットワークが形成され、物流の効率化による産業振興が期待される。

イオン岡山LCの輸送ルート



イオン岡山デジタルツクスセンター

- H28年9月 稼働開始
- 敷地面積：約4万4千㎡（2階建て）
- 管理：イオングローバルSCM
- 入居事業者：（株）山陽マルナカ、イオンリテール（株）、マックスバリュ・西日本（株）
- 従業員数：200名強
- 配送エリア：岡山県全域、広島県福山市・広島市、鳥取、島根県と中国地方の半分をカバー、一部兵庫県も対象 ※合計79店舗

配送状況

- ・生鮮 岡山県内約8割、広島方面約1割、近畿方面・他約1割
トラック約150台/日
- ・常温 岡山県内約6割、広島方面約1割、兵庫方面約2割、他
トラック約100台/日
- ――――
- ・岡山市内約6割、倉敷方面約2割、東方面約1割、北方面約1割
トラック約150台/日



資料)山陽新聞、(株)日立物流ヒアリング結果(H28.9)写真)山陽マルナカHP

イオン岡山Cから大通橋西詰までの所要時間の短縮

【現況 国道2号經由】7時台

約24分

大槓橋西詰

【整備後】岡山環状南道路經由

約14分

※現況はプロブデータ(H27年4月～H28.3の平日
※整備後は一般国道180岡山環状南道路、(市)藤田

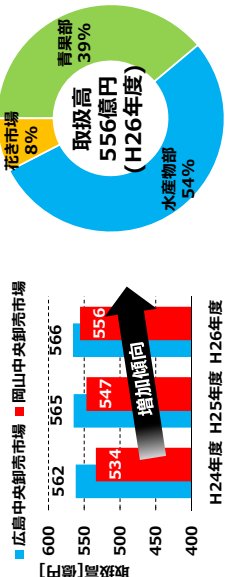
各圖山鄉中央公共市場

敷地面積	: 193.854m ²
建物面積	: 78.818m ²
供給國人口	: 206萬人
到完業者	: 8社
仲卸業者	: 56業者
関連事業者	: 74業者

写真：岡山市ホームページ

【取扱高の推移】

- 岡山中央卸売市場の取扱高は最近3年間で増加傾向に転じている。
平成26年度は取扱高556億円と、広島中央卸売市場と同程度の規模の取扱高となっている。



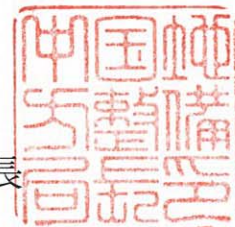
出典：『山口市中央卸売市場年報（H26年度）』、
『広島中央卸売市場年報（H26年度）』

一般国道１８０号 岡山環状南道路
〔岡山市への意見照会と回答〕

国中整企画第29号
国中整港計第6号
平成28年9月21日

岡山市長 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成28年10月17日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道１８０号 岡山環状南道路	継続	

※貴市の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成２８年１０月６日（木）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原 （内線：３１５３）

施策分析評価係長 藤野 （内線：３１８６）

TEL：０８２－２２１－９２３１（代表）

FAX：０８２－２２７－２６５１

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎２号館



岡道計第 115 号
平成28年 9月29日

中国地方整備局長 様

岡山市長 大 森 雅 夫



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年9月21日付け国中整企画第29号、国中整港計第6号で照会のありました「一般国道180号 岡山環状南道路」の再評価に係る対応方針（原案）に対する意見について、下記の通り回答します。

記

1 意 見 異議ありません。

一般国道180号 岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。



<問い合わせ先>

岡山市都市整備局道路計画課

課 長 平 澤 重 之

TEL 086-803-1695

FAX 086-803-1727